



ワルシャワ経済大学・北海道大学 ジョイントワークショップ

共通論題：ポーランドの「流通革命」：「生協王国」北海道への教訓

主催：北海道大学経済学研究科

共催：経営史学会北海道部会

日時：2013年3月26日(火) 15:00-16:30

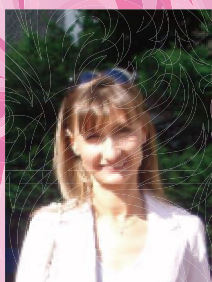
場所：北海道大学大学院経済学研究科大会議室(3階)

論題：「西洋諸国における小売形式の進化と経済開放後のポーランド小売業への影響」
Retailing formats evolution in Western countries and the implications for retailing in Poland after the opening of the Polish economy (英語・日本語訳付)

報告者：ドミニカ・ミロンスカ氏 Dr. Dominika Mirońska
ワルシャワ経済大学・国際経営マーケティング研究所・准教授

コメント：「コープさっぽろ(1965-1995年)と『流通革命』の比較史」
Cooperative Sapporo (1965-1995) and the “retail revolution” :
A comparative introduction (英日語)

報告者：高井哲彦氏 (北海道大学)



報告者紹介：

・ミロンスカ氏は、ユニリーバ・ブランド・マネージャー、東京在外研修、ワルシャワ経済大学博士を経て現職。関心は書籍小売業およびNGOのマーケティング。・ワルシャワ経済大学はポーランド最古の経済大学。前身のワルシャワ中央計画統計大学は北大経済協定校。出身者に首相、財務相、国立銀行総裁、河野太郎衆議院議員、吉野悦雄北大経済教授等。

